

Skip UP!

2012年11月13日

発行責任者 森川 学

NO. 18 編集責任者 情 宣 部

2012年度年末手当

青年部本社要請行動を行う!!

森川青年部長

「私たちにとって年末手当は生活給であり切実である」

本日、本部青年部は16時より2012年度年末手当青年部要請行動を行いました。

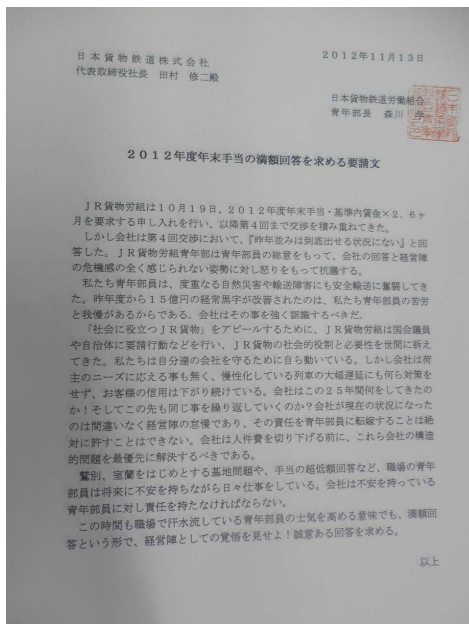
冒頭、森川青年部長より「私たちにとって年末手当は生活給であり非常に切実である」

「近年、経営陣の姿勢が悪くなってきているのではないかと、最近の会社の姿勢に対し指摘を行った後に、要請文を読み上げました。



会社は第4回交渉と未だ考え方変わらず(怒)!! 「昨年以上は厳しいと言わざる得ない」

青年部の声に対し会社経営陣からは、「上期が昨年度から15億円も改善できたのは社員の皆さんの協力があつたから。その事には感謝している」「しかし、関連事業収入が昨年度より減収になり、会社は年度末に5億の黒字を達成するためには7億円の増収をしなければならず、年末手当については昨年以上は厳しいと言わざる得ない」と回答しました。会社の考え方に対し、青年部は「鉄道貨物の会社なのになぜ関連事業収入に頼るんだ?」「職場では仕事量だけ増えているのに、ペアゼロや手当は低額回答で私達の我慢は限界だ!!」と誠意のない会社に職場の怒りをぶつけました。最後に「この間会社はさんざん私たちを裏切り続けてきた。絶対許さない!!会社は誠意と覚悟を見せよ!! 田村社長に必ず伝えよ!!」と厳しく言及し要請を終了しました。



会社は職場の声を全く聞いていない。絶対許さない!!本社に抗議の声を集中しよう!!

JR貨物労組青年部